



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月10日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社フォーバル
コード番号 8275 URL <https://www.forval.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島 將典
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 加藤 康二 TEL 03-3498-1541
四半期報告書提出予定日 2022年11月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	27,526	17.5	581	△39.8	768	△24.8	298	△59.4
2022年3月期第2四半期	23,424	△0.1	965	△5.7	1,021	11.8	733	59.2

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 397百万円 (△52.6%) 2022年3月期第2四半期 838百万円 (4.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	11.63	11.63
2022年3月期第2四半期	28.66	28.66

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	31,934	14,101	41.2
2022年3月期	32,498	14,372	41.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 13,160百万円 2022年3月期 13,421百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	26.00	26.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,000	4.8	2,800	4.2	3,000	5.1	1,900	3.4	74.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 (社名) 除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	27,732,622株	2022年3月期	27,732,622株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	2,068,577株	2022年3月期	2,097,577株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	25,643,533株	2022年3月期2Q	25,592,543株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ウクライナ情勢等を受けた資源価格上昇の影響を受け一方で、新型コロナウイルス感染症や供給制約の影響が徐々に和らぐ中で、輸出は堅調に推移し、設備投資も持ち直しの動きが見られました。また、雇用・所得環境も緩やかに改善し、個人消費も新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐ中でサービス消費を中心に緩やかに増加しました。

また、当社グループの事業領域である情報通信分野においては、クラウドやビッグデータ、IoT、AIなどを活用したサービスが拡大しています。

このような経営環境下、当社グループは「次世代経営コンサルタント」として企業経営を支援する集団となり、中小・小規模企業の利益に貢献することを目指し、「情報通信の知識・技術を駆使した経営コンサルティングサービス（情報通信）」、「海外マーケットを独自ノウハウで取り込む経営コンサルティングサービス（海外）」、「環境に配慮した最先端の経営コンサルティングサービス（環境）」、「次世代経営に必要な人材を育てる経営コンサルティングサービス（人材・教育）」、「企業のライフサイクルに対応した経営コンサルティングサービス（起業・事業承継）」の5分野において他社との差別化を図り、質の高いサービスを提供するためにM&Aも活用しながら事業の拡大に取り組んでいます。

現在は、国の経済財政運営と改革の基本方針2021で示されている日本の未来を拓く4つの原動力「グリーン」「デジタル」「活力ある地方創り」「少子化対策」に則り、中小・小規模企業が国の掲げる4つの原動力を実現するために、中小・小規模企業のGX（グリーントランスフォーメーション）及びDX（デジタルトランスフォーメーション）（以下「GDX」）を推進する伴走型アドバイザーとしての確固たる地位を確立していくことに注力しています。その実現に向けて、GDXアドバイザーの創造、GDXアドバイザー向けの新たな貸出ビジネスの創造、中小企業経営のための情報分析プラットフォーム「きづなPARK」の質的・量的拡充、中小企業に対するスコアリングの実現など、事業基盤の強化にスピード感を持って取り組んでいます。

このような状況下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績は以下のようになりました。

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、中小・小規模企業におけるDX推進の機運の高まりを受けてアイコンサービスが順調に拡大したことに加え、GXに対する意識の高まりを受けて環境に優しい新電力サービスが増加し、また、新たに連結に加わったグループ会社の寄与もあり、売上高は前年同期に比べ4,102百万円増加し、27,526百万円（前年同期比17.5%増）となりました。

利益面では売上総利益が電力の仕入価格上昇の影響を受けて前年同期に比べ623百万円増加（前年同期比7.1%増）にとどまったほか、販売費及び一般管理費は事業拡大に伴う人員増強の影響等で前年同期に比べ1,007百万円増加（前年同期比12.9%増）した結果、営業利益は581百万円（前年同期比39.8%減）、経常利益は持分法による投資利益の増加や貸倒引当金繰入額の減少等により768百万円（前年同期比24.8%減）、前年同期は事業譲渡益などの特別利益を426百万円計上していたことで親会社株主に帰属する四半期純利益は298百万円（前年同期比59.4%減）となりました。

なお、新電力サービスについては、電気料金のうち発電燃料の価格で変動する燃料費調整額について、平時を想定した約款により単価に上限を設けていたため、同料金に係る仕入価格がウクライナ情勢等による発電燃料の高騰を受けて、その上限を上回った事で利益減少要因となってしまいましたが、当第3四半期より当該約款を改定し上限の撤廃等、同料金の体系を見直して通期における影響範囲の最小化を図っています。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

<フォーバルビジネスグループ>

アイコンサービス」やセキュリティ関連が増加したほか、新たに連結に加わったグループ会社の寄与により、売上高は13,304百万円（前年同期比23.8%増）、セグメント利益は541百万円（前年同期比37.3%増）となりました。

<フォーバルテレコムビジネスグループ>

新電力サービスが増加した一方で、ISPサービス等が減少した結果、売上高は11,442百万円（前年同期比12.4%増）、電力の仕入価格上昇の影響でセグメント利益は49百万円（前年同期比90.3%減）となりました。

<総合環境コンサルティングビジネスグループ>

産業用太陽光発電システムが減少する一方で、住宅用太陽光発電システム等が増加した結果、売上高は1,659百万円（前年同期比5.1%増）、セグメント損失は53百万円（前年同期はセグメント損失13百万円）となりました。

<その他事業グループ>

教育事業やITエンジニアの派遣事業が堅調に推移した結果、売上高は1,120百万円（前年同期比21.4%増）、セグメント利益は169百万円（前年同期比26.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ564百万円減少し31,934百万円となりました。

流動資産は21,565百万円となり、前連結会計年度末比1,055百万円の減少となりました。これは主として現金及び預金が371百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が824百万円減少したことによるものです。

固定資産は10,369百万円となり、前連結会計年度末比490百万円の増加となりました。これは主として有形固定資産が124百万円、無形固定資産が80百万円、投資有価証券の増加により投資その他の資産が285百万円増加したことによるものです。

流動負債は14,481百万円となり、前連結会計年度末比575百万円の減少となりました。これは主として短期借入金が増加したのに対し、未払金が180百万円、未払法人税等が290百万円、賞与引当金・役員賞与引当金が215百万円減少したことによるものです。

固定負債は3,351百万円となり、前連結会計年度末比282百万円の増加となりました。これは主として社債が100百万円、退職給付に係る負債が74百万円増加したことによるものです。

純資産は14,101百万円となり、前連結会計年度末比270百万円の減少となりました。これは主として親会社株主に帰属する四半期純利益298百万円に対し、配当金の支払い666百万円により株主資本が329百万円減少したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は9,596百万円となり、前連結会計年度末に比べ469百万円の減少となっております。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は739百万円（前年同期は17,921百万円の獲得）となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益が768百万円、減価償却費が564百万円、売上債権及び契約資産の減少額が1,081百万円あったのに対し、前払費用の増加額が263百万円、仕入債務の減少額が227百万円、法人税等の支払額が646百万円あったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は491百万円（前年同期は998百万円の使用）となりました。これは主として無形固定資産の取得による支出が341百万円、投資有価証券の取得による支出が211百万円あったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は732百万円（前年同期は1,391百万円の使用）となりました。これは主として短期借入金の純増額が122百万円あったのに対し、配当金の支払額が664百万円あったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績は現時点で概ね想定した範囲内で推移しており、2022年5月13日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,171,059	9,799,316
受取手形、売掛金及び契約資産	7,943,844	7,119,485
リース投資資産	166,686	144,418
商品及び製品	637,992	691,309
仕掛品	83,567	87,135
原材料及び貯蔵品	422,601	368,790
未収入金	1,899,009	1,899,786
その他	1,407,487	1,549,369
貸倒引当金	△111,942	△94,474
流動資産合計	22,620,307	21,565,138
固定資産		
有形固定資産	1,231,287	1,355,794
無形固定資産		
のれん	1,977,388	1,908,551
その他	1,034,005	1,183,400
無形固定資産合計	3,011,394	3,091,952
投資その他の資産		
投資有価証券	1,851,596	2,262,839
破産更生債権等	2,474,275	2,357,435
繰延税金資産	2,080,320	1,990,150
その他	1,678,188	1,645,825
貸倒引当金	△2,448,854	△2,334,805
投資その他の資産合計	5,635,525	5,921,445
固定資産合計	9,878,207	10,369,192
資産合計	32,498,514	31,934,330
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,755,316	5,724,012
短期借入金	2,238,028	2,454,790
未払金	2,872,396	2,691,466
未払法人税等	612,093	321,476
賞与引当金	703,825	604,309
役員賞与引当金	207,709	91,634
その他	2,667,513	2,593,483
流動負債合計	15,056,883	14,481,172
固定負債		
社債	—	100,000
長期借入金	200,504	234,736
退職給付に係る負債	2,685,605	2,760,076
役員退職慰労引当金	61,191	65,543
繰延税金負債	11,665	7,938
持分法適用に伴う負債	43,716	40,117
その他	66,405	142,976
固定負債合計	3,069,089	3,351,388
負債合計	18,125,973	17,832,560

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,150,294	4,150,294
資本剰余金	2,525,731	2,547,573
利益剰余金	7,394,969	7,026,610
自己株式	△1,238,827	△1,221,700
株主資本合計	12,832,168	12,502,778
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	601,234	623,607
為替換算調整勘定	7,081	50,561
退職給付に係る調整累計額	△18,490	△16,750
その他の包括利益累計額合計	589,824	657,419
新株予約権	28,136	29,963
非支配株主持分	922,411	911,608
純資産合計	14,372,541	14,101,769
負債純資産合計	32,498,514	31,934,330

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	23,424,294	27,526,418
売上原価	14,647,473	18,126,069
売上総利益	8,776,820	9,400,349
販売費及び一般管理費	7,811,133	8,818,795
営業利益	965,686	581,554
営業外収益		
受取利息	2,042	2,553
受取配当金	23,827	26,828
持分法による投資利益	64,754	80,367
その他	34,567	91,159
営業外収益合計	125,192	200,910
営業外費用		
支払利息	12,821	9,424
貸倒引当金繰入額	49,298	—
その他	7,301	4,866
営業外費用合計	69,420	14,290
経常利益	1,021,458	768,173
特別利益		
投資有価証券売却益	23	138
固定資産売却益	71,698	—
事業譲渡益	354,111	—
新株予約権戻入益	517	322
その他	540	—
特別利益合計	426,891	460
特別損失		
固定資産除売却損	18,766	112
投資有価証券評価損	—	70
減損損失	72	—
その他	1,871	—
特別損失合計	20,710	182
税金等調整前四半期純利益	1,427,639	768,452
法人税、住民税及び事業税	446,107	346,335
法人税等調整額	112,915	92,486
法人税等合計	559,022	438,822
四半期純利益	868,616	329,630
非支配株主に帰属する四半期純利益	135,039	31,478
親会社株主に帰属する四半期純利益	733,577	298,152

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	868,616	329,630
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△36,847	22,373
退職給付に係る調整額	952	1,740
持分法適用会社に対する持分相当額	5,578	43,480
その他の包括利益合計	△30,316	67,594
四半期包括利益	838,300	397,224
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	703,260	365,746
非支配株主に係る四半期包括利益	135,039	31,478

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,427,639	768,452
減価償却費	464,656	564,273
減損損失	72	—
のれん償却額	93,056	158,235
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△54,600	△131,603
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△277,549	△99,516
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△104,177	△116,075
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△13,871	36,931
受取利息及び受取配当金	△25,870	△29,382
支払利息	12,821	9,424
持分法による投資損益 (△は益)	△64,754	△80,367
事業譲渡損益 (△は益)	△354,652	—
固定資産除売却損益 (△は益)	△52,932	112
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	939,831	1,081,307
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△157,205	46,578
前払費用の増減額 (△は増加)	△101,631	△263,821
仕入債務の増減額 (△は減少)	△796,300	△227,897
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△178,386	△124,155
未払金の増減額 (△は減少)	△327,081	△195,886
その他	14,464	△31,423
小計	443,528	1,365,184
利息及び配当金の受取額	26,738	29,924
利息の支払額	△11,952	△9,534
法人税等の支払額	△440,393	△646,116
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,921	739,457
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	100,000	—
有形固定資産の取得による支出	△99,425	△70,593
無形固定資産の取得による支出	△223,415	△341,448
投資有価証券の取得による支出	△798,557	△211,446
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△559,769	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	108,530
貸付けによる支出	△100,348	△710
貸付金の回収による収入	13,179	16,304
事業譲渡による収入	380,000	—
その他	289,632	7,730
投資活動によるキャッシュ・フロー	△998,703	△491,635

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△588,000	122,000
長期借入金の返済による支出	△63,240	△73,510
配当金の支払額	△661,742	△664,553
非支配株主への配当金の支払額	△57,431	△59,451
その他	△21,444	△57,063
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,391,858	△732,579
現金及び現金同等物に係る換算差額	911	15,370
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,371,730	△469,386
現金及び現金同等物の期首残高	10,905,682	10,066,272
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	43,098	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,577,051	9,596,885

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	フォーバル ビジネス グループ	フォーバル テレコム ビジネス グループ	総合環境 コンサル ディング ビジネス グループ	計		
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	10,747,626	10,175,835	1,578,366	22,501,829	922,464	23,424,294
外部顧客への売上高	10,747,626	10,175,835	1,578,366	22,501,829	922,464	23,424,294
セグメント間の内部 売上高又は振替高	209,799	243,272	4,210	457,282	26,487	483,769
計	10,957,426	10,419,108	1,582,577	22,959,111	948,952	23,908,063
セグメント利益又は 損失(△)	394,468	506,975	△13,381	888,062	134,478	1,022,540

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術者派遣事業及びIT教育サービス事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	888,062
「その他」の区分の利益	134,478
セグメント間取引消去	1,599
のれん償却額	△58,453
四半期連結損益計算書の営業利益	965,686

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「フォーバルビジネスグループ」セグメントにおいて、遊休資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては72千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「フォーバルビジネスグループ」セグメントにおいて、㈱エルコムの子会社を取得し、当第2四半期連結会計期間より連結範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては606,321千円であります。

なお、のれんの金額は、当第2四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額です。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	フォーバル ビジネス グループ	フォーバル テレコム ビジネス グループ	総合環境 コンサル ティン グ ビジネス グループ	計		
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	13,304,303	11,442,187	1,659,608	26,406,099	1,120,318	27,526,418
外部顧客への売上高	13,304,303	11,442,187	1,659,608	26,406,099	1,120,318	27,526,418
セグメント間の内部 売上高又は振替高	228,994	224,976	9,423	463,394	96,328	559,723
計	13,533,298	11,667,163	1,669,032	26,869,494	1,216,647	28,086,141
セグメント利益又は 損失(△)	541,688	49,140	△53,257	537,571	169,616	707,187

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術者派遣事業及びIT教育サービス事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	537,571
「その他」の区分の利益	169,616
セグメント間取引消去	2,178
のれん償却額	△127,811
四半期連結損益計算書の営業利益	581,554

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「フォーバルビジネスグループ」セグメントにおいて、(株)アベヤス及び(株)進駿堂販売の株式を取得し、第1四半期連結会計期間より連結範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては89,397千円であります。

なお、のれんの金額は、当第2四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額です。